

支部学術集会を開催いたしました。

地域包括ケアシステムの構築を達成する上で、非常に重要な課題である「人生の終末期をどのように過ごすか」について、基調講演として、東京大学大学院人文社会科学系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座特任教授の会田薫子先生にご講演をいただきました。

また、医療・介護・地域社会などの調和をとりながら「地域包括ケアシステムの構築」を行っていかねばならない中で、シンポジウムでは4名のパネリストの先生方にご参加いただき、様々な領域で活躍されている方々から、それぞれの立場で発表され、どのように調和をとっていくべきかのヒントを参加者ひとりひとりが得られました。

さらに、ポスター発表では8題の応募をいただき、盛会となりました。

最後に、皆様のご協力のお陰で無事に会を終了できましたことを厚くお礼申し上げます。

### 第16回山口県支部学術集会

学術集会会長：山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院  
院長 馬場良和

2017年11月11日(土)、J A山口厚生連周東総合病院東館7階講堂にて、第16回山口県支部学術集会を開催し、県内より149名のご参加を頂きました。今回のテーマは、「山口県における医療の現状と今後の展望～急性期医療と高齢化社会を支えるために～」と題し、特別講演1題、シンポジウム、一般演題(口演)11題、ポスター演題10題で発表が行われました。

特別講演では、国際医療福祉大学大学院副大学院長中村秀一先生に「社会保障改革の動向とこれからの医療・介護」と題し、ご講演をいただきました。

シンポジウムでは、山口県東部地区の医療機関の中から居宅介護支援事業所とうわ管理者 岡本智美様、独立行政法人国立病院機構岩国医療センター地域医療連携室地域医療連携係長看護師長 竹山淳子様、地域医療支援病院岩国市医療センター医師会病院地域包括ケア病棟師長 河邊景子様、訪問看護ステーションすおうおおしま所長 大久保 都子様をお迎えし、「病棟看護師さん困っていませんか?～お互いの立場で問題解決～」と題し、各施設の現状と問題点などを発表・討議していただきました。

最後に本学術集会が盛会のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。

### 第13回愛知県支部学術集会

学術集会会長：名古屋第一赤十字病院副院長 錦見尚道

2017年11月18日(土)ミッドランドホールに於いて、第13回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会

を開催いたしました。

学術集会のテーマは、「医療マネジメントにおける個の育成と組織化」とさせていただき、「医療安全、医療の質向上、病棟薬剤管理、患者支援、経営マネジメントなど」の各セッションから、一般演題8題の発表が行なわれました。

特別講演は、日本ヒューマンファクター研究所 取締役副所長の塚原利夫先生に「医療のリスクマネジメント～ヒューマンエラーとの限りなき戦いに向けて～」をテーマにお話をいただきました。また、ランチオンセミナーでは、公益社団法人医療・病院管理研究会 常任理事の中村彰吾先生に「病院経営の今日的課題」をテーマにご講演をいただきました。

当日はお忙しい中、愛知県内及び岐阜県から330名を超える方の参加をいただき、大盛況のうちに終了いたしました。ご協力をいただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

### 第16回九州・山口連合大会

会長：国立病院機構別府医療センター院長 酒井浩徳

2017年12月1日(金)、2日(土)の両日、別府国際コンベンションセンターB-Con Plazaにおいて日本医療マネジメント学会第16

回九州・山口連合大会を開催いたしました。少子高齢化社会を迎え、わが国の医療・介護制度は試練の荒波にさらされています。そこで、地域における医療と介護の緊密な連携、スムーズな移行・統合を目指して、「今問われる医療マネジメント～急性期から在宅介護まで：パラダイムの転換～」をテーマといたしました。講演やシンポジウムでは、これからの医療のあるべき姿、医療・介護のつながりを見据えた議論が交わされました。講演・一般演題・クリティカルパス展示、あわせて230題、955名の方にご参加いただきました。



会場風景



会場風景